

翻訳サービスの 適合性評価に関わって

日本規格協会ソリューションズ株式会社
審査登録事業部

2022年12月 1 日

Topics

適合性評価の種類

各適合性評価の特徴

認証の種類

供給者適合宣言とは

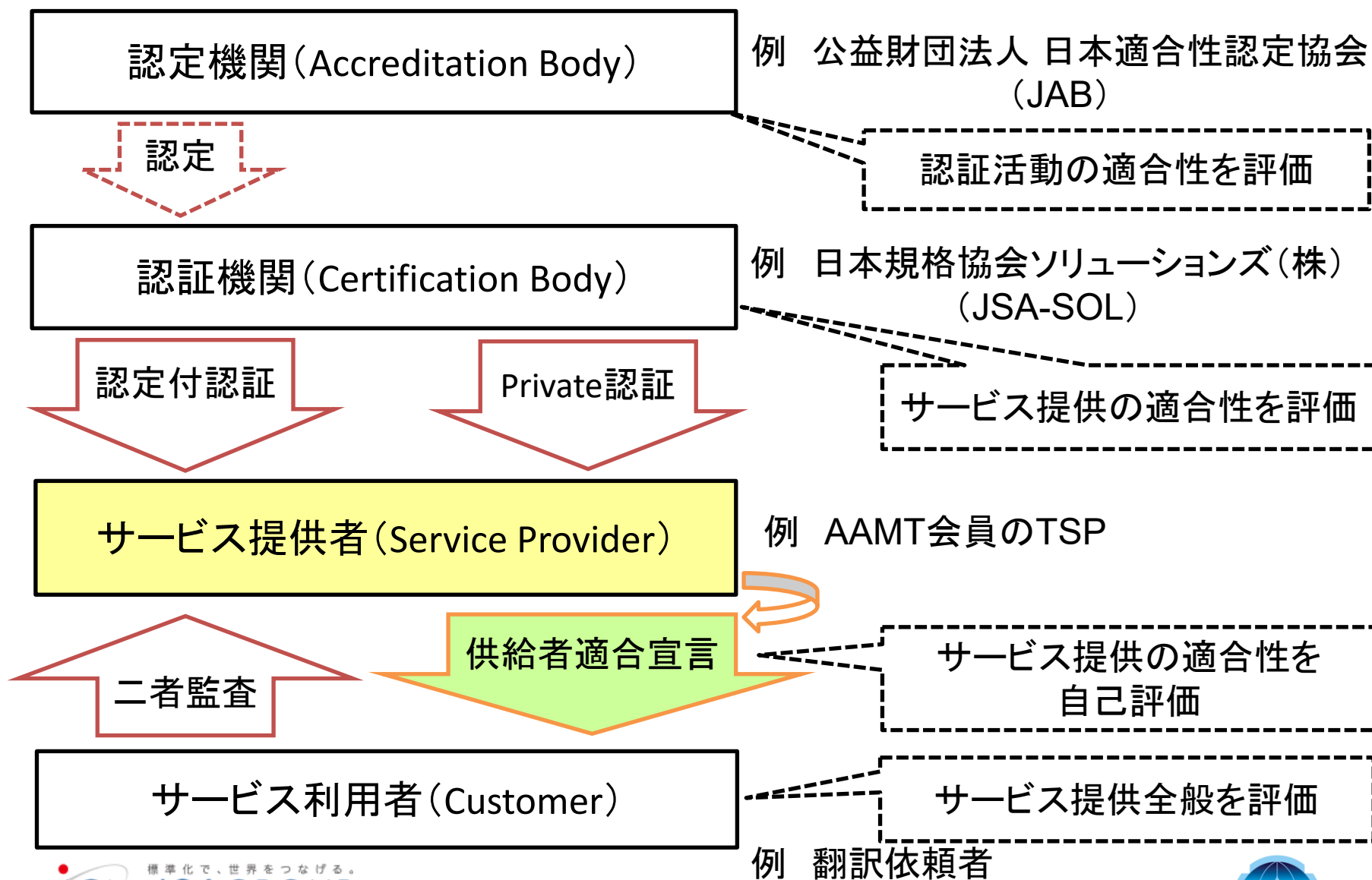
AAMTガイドラインに基づく供給者適合宣言

供給者適合宣言のポイント

適合性評価結果の活用

翻訳サービス規格（ISO18587とISO17100）の比較

適合性評価の種類



各適合性評価の特徴

■ 認証 (Certification)

- ・ 第三者による評価のため、公平性が高い
- ・ 評価結果は公表されるため誰でも確認・利用できる
- ・ サンプルングが基本であり、全てにおける適合性保証は困難

■ 二者監査 (second-party audit)

- ・ 監査対象プロジェクトが絞られるため詳細な評価ができる
- ・ 関係者以外は評価結果が不明

■ 供給者適合宣言 (Supplier's declaration of conformity)

- ・ 国際規格として手続きが規定されている
- ・ 宣言内容に関して全責任を供給者が負う

認証の種類

◆ 製品(サービス)認証

製品やサービスの規格への適合性を評価する

(例 ISO17100、ISO18587)

◆ マネジメントシステム認証

組織の品質、環境、情報セキュリティなど

マネジメントシステム規格への適合性を評価する

(例 ISO9001、ISO14001、ISO/IEC27001)

◆ 要員認証

人の技量に関する規格に対する適格性を評価する

(例 マネジメントシステム審査員、登録翻訳者)

・他に「試験所」、「研修プログラム」などがある

供給者適合宣言とは

目的：識別された対象（PE活動）が宣言書中の規定要求事項に適合しているという保証を与えること

◆一般要求事項

- ✓ 発行者（TSPの代表者）は、適合宣言の発行，維持，拡大，・・・，取消し、及び対象の規定要求事項への適合に責任を持つ
- ✓ 第一人者（TSP），第二者又は第三者の一つ以上が実施した適合性評価活動（例：監査）の結果に基づかなければならない
- ✓ 該当する国際規格（ISO18587），ガイド（AAMTガイドライン）及びその他の規準文書（顧客仕様、社内規程など）を参照する
- ✓ 製品（PEサービス）群の個々に適用されなければならない
- ✓ 適合性評価結果をレビューする要員（内部監査責任者）は宣言書の署名者と異なる者であることが望ましい

* JIS Q 17050-1より抜粋・補足

AAMTガイドラインに基づく供給者適合宣言

AAMTのガイドライン文書：

フルポストエディット業務を提供する事業者(TSP)が、ISO18587の要求事項を満たすことを自己宣言する際に適用するもので、以下の附属書を含む

- ・供給者適合宣言書(附属書A)
→参考様式
- ・内部監査結果報告書(附属書B)
→参考様式
- ・内部監査実施要項(附属書C)
→実施内容・注意事項
- ・適合性評価チェックリスト(附属書D)
→ISO18587要求事項への適合性評価チェック用

供給者適合宣言のポイント

サービス供給者 (TSP) の責任で適合性を担保

サービス利用者の信頼を得るため、以下の点を考慮要

- ✓ 対象となるサービスの明確化 (言語ペア、対象分野など)
- ✓ 基準となる規格や要求事項の明確化
- ✓ 責任者の明確化 (宣言の署名者、内部監査責任者)
- ✓ 力量・資格を持つ実務者 (ポストエディタ) の管理・識別
- ✓ 業務プロセス (制作前、制作、制作後) の確立
- ✓ 必要な業務文書の整備
- ✓ 必要な記録の保持
- ✓ 定期的な内部監査の実施

⇒ 外部監査があつたとしても耐えられる運営

適合性評価結果の活用

- ・応札条件に適合性評価の結果を求められることがある。
「認証」を取得することも有効だが、
「供給者適合宣言」も認証の代替手段となり得る

翻訳サービス規格比較 (ISO18587とISO17100) ①

項目	ISO18587	ISO17100
制定時期	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年 	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年: 前身のEN15038は2006年制定 ・2017年: 翻訳者の資格に関する追補
翻訳サービスの対象	<ul style="list-style-type: none"> ・MT出力に対するPE業務 ・特にフルポストエディット 	<ul style="list-style-type: none"> ・人手による翻訳 ・MT/PEは対象外
力量・資格(※)の評価対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストエディタ ↓ ★ISO17100で翻訳者に要求される力量・資格 + ★PEの専門性が要求されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳者 ・バイリンガルチェック者 ・モノリンガルチェック者 ・プロジェクトマネージャ

※資格: 学位や実務経験年数で決まる

翻訳サービス規格比較 (ISO18587とISO17100) ②

項目	ISO18587	ISO17100
制作前プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・MT/PEの適用判断 ・リエディットの適用判断 ・クライアントとの合意 ・ポストエディタへのMT出力の推定有用性レベル通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き合い ・要求分析・見積 ・クライアントとの合意 ・プロジェクト登録・準備
制作プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストエディット作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳 ・バイリンガルチェック (・モノリンガルチェック) (・プルーフリード) ・最終検品・引き渡し
制作後プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・最終検品・引き渡し ・フィードバック対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック対応 ・終結管理



ご視聴ありがとうございました。